

診療と入院、デイサービスが一体となった 医療と介護の安心拠点。



2Fのデイサービス「ささゆり」のディールーム。共用の洗面カウンターは、高さ650mmのものと750mmのものを設置。小柄なお年寄りの方でも快適に使えるように配慮されている。座位の確立のため、椅子も座面の高さが2cmずつ違うものを4種類用意。手前のテーブルは、さまざまなカタチへの組み合わせができるようになっている。

広島「はしもと胃腸科内科」は、1982年の開業以来、地域の人々の支えになってきました。その病院の建て替えを行い、名前を「はしもと内科」に変更するとともに2015年3月より、19床の有床診療所として新しくスタート。1Fは診療フロア、2Fがデイサービス「ささゆり」、そして3Fが入院フロアとなっています。入院もできるようになった地域の「安心拠点」は、在宅生活の支援も行いながら、患者さんのご家族をも支える心の拠り所になろうとしています。



30年以上の歴史ある診療拠点が新築された。

利用者の健康状態や体格などに きめ細かに合わせる配慮のある環境。

地元で暮らす人たちが、大きな手術以外であれば「はしもと内科へ行けば、なんとかしてくれる」と安心できる場所を整えたい。それが建て替えによる再スタートへの大きな想いでした。

新しい施設では、医療と介護との連携がさらに強化されました。以前から、向かい側の建物にあったデイサービス「ささゆり」を医師や看護師が交替で訪れていましたが、この機会に同じ建物内に統合。介護福祉士と情報交換しながら、さらに利用者の健康状態やご家族の状況までをしっかりと把握できるようになりました。それぞれの人に対する配慮は水まわりなどにも表れ、利用者の体格によって使い分けられる高さ違いの洗面カウンターや椅子などが、一人ひとりの快適な利用をサポートしています。

また、入院病棟のスタッフステーションから病室全体が見渡せるように設計されるなど、スタッフがいつでも患者さんをサポートできる配慮が行き届いています。



デイサービスの車いすトイレでは、座位の安定をはかる背もたれ付きアームレストを採用。

はしもと内科

- 竣工年月 / 2015年3月
- 所在地 / 広島県広島市中区吉島東1-27-20
- 施主 / 医療法人社団あえび会 はしもと内科
- 設計 / 株式会社杉田三郎建築設計事務所
- 延床面積 / 1,342.85㎡
- 病床数 / 19床



デイサービスの浴室には3つの個浴槽を用意。床には光触媒効果でぬめりを抑え滑りにくいハイドロテクトタイルを採用している。



2Fに設置されたセンサー式の汚物流し。



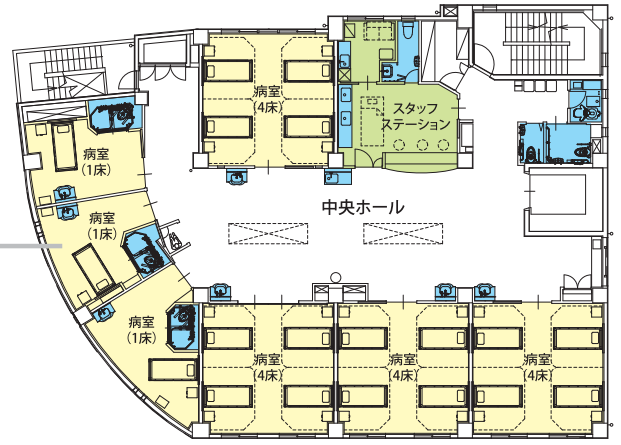
1F診察室と事務室の奥に設けられたスタッフ用手洗器。



1Fに設けられた、オストメイトにも配慮した多機能トイレ。背もたれや跳ね上げ手すり、L型手すりなどが設けられている。

3F
入院フロア
平面図

スタッフステーションから
病室を見渡せるレイアウト



3F入院フロアの個室。8角形のトイレ・シャワーユニットはコンパクトで、ストレッチャーがスムーズに搬入出できる。



車いすでも使いやすい個室の洗面カウンター。夜に自分の姿を見て驚く認知症の患者さんのためにカーテンを設置。

Voice 院長先生からの声

地域の方に安心していただけるよう、入院できる環境を整えました。



はしもと内科
院長
橋本義政さん

私は自分が育った吉島に戻って来ましたが、改めて高齢の方が多いと感じます。大きな病院ではちょっとしたことで入院するのが難しいこともあり、患者さんのご近所のこちらで診ることができれば、安心して喜んでいただけると思い、入院できるベッドを確保しました。デイサービスは、以前は道を挟んだ向かい側にあり、横断歩道を渡るだけでもたいへんそうでしたから、一つの建物にしたいと思っていました。また、スタッフ同士が話しやすい環境になれば、より患者さんや利用者さんに還元できると考えましたね。設計に関しては、患者さんをよく見渡せるレイアウトをお願いし、病室はゆったりと過ごせる広めのスペースを確保しました。設計の小田さんには、たび重なる計画変更の過程で、想いを汲み取って設計図を描き直していただきました。トイレは、患者さんから「きれいになったけ、遠慮して使いづらいわ(笑)」と言われるほど変わりましたね。

Voice 介護福祉士さんからの声

便座の高さが2cm違っても大きいです。



デイサービスささゆり
生活相談員
介護福祉士
大島章宏さん

以前の建物では入浴するのに段差があり、歩行できない人には辛かったのですが、安全にスムーズに入浴できる環境になりました。車いすトイレの座面の高さが、以前の44cmから42cmになって移乗がラクになり、足台を使わなくても座位が安定するので、安心できる排便にもつながっていますね。

Voice 外来の看護師さんからの声

個室になったのも喜ばれています。



はしもと内科
看護部
外来看護師
上河内のぞみさん

診察室の奥に設置したスタッフ用手洗器は、高さがちょうどよくて水はねもなく、とても便利です。以前のデイサービスのお風呂は大浴場で、隣の人と会話をしていたのですが、それがすべて個室になってどうか? という話もありましたが、一人ひとり清潔に入れるので、喜ばれているようです。

Voice 病棟の看護師さんからの声

センサー式の汚物流しが便利です。



はしもと内科
看護部
病棟看護師
野村明子さん

新しい建物で、新卒として働かせてもらっています。患者さんの少しの変化やサインも見逃さないようにしています。トイレは車いすの患者さんも便座の高さがちょうどいい位置にありますね。汚物流しは非接触のセンサー式なので、手が汚れている状態の時でも、とても流しやすくて助かります。

Voice 設計担当の方からの声

8角形のユニットがポイントでした。



株式会社杉田三郎
建築設計事務所
設計部長
小田一雄さん

個室には8角形のトイレ・シャワーユニットを採用しましたが、ストレッチャーを横付けできるスペースを確保するには、これしかない感じでした。院長先生の熱い思いがあって19床を確保できたと思いますし、デイサービスも一つになり、スタッフ同士の連携もしやすくなったと聞き、とてもうれしいです。